

医療法人財団 愛泉会

愛知国際病院

老人保健施設 愛泉館

# みちよみやま

vol.92

特集 地域に寄り添う

地域の一員として  
大切にしていること  
大切にしたいこと。

CROSS people

理事長×院長

医療法人財団 愛泉会で働く仲間たち  
指定居宅介護支援事業所  
「愛泉館」



職員に聞きました! 「地域に寄り添う」って、どういうこと?

# 地域の一員として 大切にしていること 大切にしたいこと。

今から38年前、20数名のスタッフでスタートした医療法人財団愛泉会。基本方針のひとつに「地域と共にあり、地域に支えられる医療」を掲げ、愛知国際病院を要として訪問看護、老人保健施設、ホスピス病棟などを開設してきました。地域における連携がますます重要となつている今、創立時の思いを大切に、今までもこれからも地域に寄り添います。

一人ひとりと向き合う

どんな些細なことでも声に出していただき、身体だけでなく心のケアもできる。そんな病院であり、医療者でありたいと思っています。

理学療法士  
鈴木 英嗣



さまざまな声を聴く

「地域」は「人」の集まりです。人との関わりを大切に、さまざまな声に耳を傾ける。それが地域に寄り添うことにつながるのだと思っています。

住宅型  
有料老人ホーム カナン  
施設管理者・介護福祉士  
三村 隆介



一緒に考え「安心」を届ける

病気になったり、介護を受ける立場になったとき、最も必要なものは「安心」だと思います。困難なことがあっても「孤独ではない」「抱えこまない」状況になるように支援します。

看護部長  
水野 寿美子



健康増進に貢献する

各種健康保険制度や医療費など医療全般についてお手伝いする医事を通じ、健康増進に役立てたら…。お困り事があれば愛知国際病院の受付窓口へ声をお掛けください。

医事課 主任  
唐澤 利昭



関わりを持った人を支えきる

愛泉館で関わりを持った方は、施設を利用されなくても(できなくなっても)、次のサービスを提案したり安否を気にかけたり、ずっと支えていきたいです。

老人保健施設 愛泉館  
ケア部門長 松下 恵美



住み慣れた場所で安心して生活できるよう、「その人らしい」暮らしを大切に見守り、24時間365日、切れ目なくケアをつないでいきます。

訪問看護ステーション えまい  
所長・訪問看護認定看護師  
鈴木 功子

切れ目なくケアをつなぐ

大切にされた安心できたと感じていただく

「不安」「痛い」「苦しい」を抱えた方々が少しでも安心できるよう、スタッフそれぞれが気配りを提供していきます。

地域医療連携室  
医療ソーシャルワーカー 木下 夏望 看護師 川口 順子 部長・医師 宮崎 雅



「地域力」を上げていきたい。



老化や病気も日常の一部と考えれば  
治すだけでなく、支えることも大切。

「手術をするか、しないか」「施設か、在宅か」といった選択も含めて、病院にすべてを委ねることは難しくなっています。患者さんにどう寄り添い、どう支えることができるか、これからはますます重要になっていくでしょう。

だれもが安心して暮らせる環境へ

**井手** 手術で病気やケガが治ったとしても、入院中に身体の機能が衰えたり、嚥下障害で食事がしづらくなったり。認知症が悪化するケースも少なくありません。リハビリ、栄養面のサポート、心のケアなど、治療後に多職種が連携してサポートするべきことが増えています。

**太田** 2004年にいち早く活動をスタートさせた栄養サポートチーム（NST※）もそのひとつですね。飲みこみの訓練や栄養管理によつて食べられるようになったりして効果が現れると、どんどん浸透していききました。

**井手** 心のケアについては、数年前からケア技法である「ユマニチュード」（5ページ参照）を取り入れました。



**太田** 「ユマニチュード」は認知症の患者さんに驚くべき変化をもたらしています。怒っていることの多かった患者さんがふと笑顔になったり、何をされるにも嫌がっていた患者さんが「わかったわ」と返事をしてくれるようになったり。

**井手** うれしい変化ですね。ただ、私たちがどれほど頑張っても、担当できる患者さんの数には限りがあります。高齢者がさらに増えることを思うと、患者さんが行き先をなくすことのないよう、地域連携をもっと深め、だれもが安心して暮らせる環境をつくっていききたいですね。病院の力

医療法人財団 愛泉会 理事長 井手 宏

愛知国際病院 院長 太田 信吉

「地域のために」ではなく  
「地域の一員として」寄り添っていく

**太田** 今回のテーマは「地域に寄り添う」です。ここ数年、地域医療連携や地域包括という言葉がよく聞かれますが、井手先生にとつて「地域に寄り添う」という医療や介護は、どんなことだとお考えですか。

**井手** 愛知国際病院を創設した川原啓美が理念に掲げたのが「地域と共にあり、地域に支えられる医療」でした。創設から38年たち、今の私たちにもびつたり当てはまることから、この言葉の重みを改めて感じます。そして理念が「地域のために」といった与える立場ではなく、「地域の一員」として同じ目線であることにも大きな意味があると思っています。「地域に寄り添う」とは「共に暮らし、共に生きる」という、ごく自然なことではないでしょうか。

**太田** まさに日常そのものですね。私にとつて「地域に寄り添う」とは、「人を人として大切にし、愛すること」だと思っています。

にとどまらず、「地域力」を上げることも大切だと思います。

**太田** そうですね。「糖尿病教室」「健康教室」を開催してみなさんの健康意識を高めたり、「地域交流セミナー」を通じてお互いの理解を深めたり。さまざまな取り組みや仕掛けは「地域力」につながりますし、私自身も、連携先などに積極的に足を運んで地域との関わりをもっと増やしたいと思っています。顔の見えるつながりを大事にするために。

**井手** 一人ひとりのつながりが線になり面になり、それが「地域力」という大きなエネルギーを生み出していくのかもしれないですね。



※Nutrition Support Team…医師、管理栄養士、薬剤師、看護師、臨床検査技師など専門スタッフが連携し、最良の方法で栄養支援をするチーム。

Profile

医療法人財団 愛泉会 理事長 井手 宏

東京都出身。1989年に入職。ホスピス設立と同時に愛知国際病院院長となる。2015年に愛泉会理事長、老人保健施設愛泉館施設長に就任。循環器内科、緩和医療、在宅医療が専門。愛知県医療法人協会理事、日本在宅医学会（認定専門医）、日本緩和医療学会（暫定指導医）など。



愛知国際病院 院長 太田 信吉

愛媛県出身。1994年に入職。外科部長・副院長を経て、2015年に愛知国際病院院長に就任。消化器外科、腫瘍免疫を専門とし、外科、ホスピスを担当。日本外科学会（専門医）、日本消化器病学会（専門医）、日本緩和医療学会（認定医）、日本静脈経腸栄養学会、日本癌学会、日本免疫学会など。



**井手** いつも人を思いやる太田先生らしい言葉ですね。

**太田** 理念は今の職員たちに大切に受け継がれているものの、外来、病棟いずれも高齢化が進んで、医療や介護の役割も変わりつつあります。

**井手** そうですね。私たちが関わるこの地域（日進市・長久手市・みよし市）に関して言えば、愛知医科大学病院、藤田医科大学病院などと連携があり、先進医療を受けやすく恵まれた環境にあります。生活習慣病や慢性疾患の患者さんは大学病院でカバーしきれません。

**太田** そうした部分を担うのも私たち中核病院の役目のひとつですね。

**井手** 今までの医療は、急性期医療を中心とした「命を救う」「病気を治す」ことが最大の使命で、患者さんは病院に対して「すべてお任せします」といった主従関係の色合いも濃かったように思います。でも高齢化社会では、老化や病気も日常の一部といえます。

医療法人財団 愛泉会で  
働く仲間たち

職場のこと  
仕事のこと

指定居宅介護支援事業所「愛泉館」  
「ケアプラン」を作成して  
要介護の方の在宅生活を応援



日進市全域とみよし市、東郷町をカバーします。



情報共有に欠かせない毎朝の申し送り。



外来診察に付き添い、主治医の話と一緒に聞くことも。

看護師、介護福祉士、社会福祉士という資格を持つケアマネジャーが在籍しています。要介護認定を受けた方が介護保険を利用してご自宅で安心して暮らせるよう、ご本人やご家族の希望を伺って「ケアプラン（介護サービス計画書）」を作成し、サービス事業者との調整までを行います。ケアプランの実施によって、外出できなかった方がデイサービスに通い始めて心身ともに元気になったり、ご家族の絆が深まったりするのを見ると、この仕事を選んで良かったと喜びを感じます。

私たちの目標のひとつは、みなさんから信頼される事業所になること。そのためにはス



訪問看護ステーション「えまい」のスタッフとカンファレンスを行うなど、さまざまな職種との連携を大切にしています。

スタッフ間の連携も重要です。それぞれが担当している利用者さんの状況について申し送りや報告を行い、だれが連絡を受けてもきちんと迅速に対応できるようにしています。そして自分事のように利用者さんを思うこと。どんなときも相手の立場になって考え「あなたは大事な存在です」という気持ちで接するよう心がけています。

一人ひとりは、相談してください。



左から西尾恵さん、葛巻典子さん、宝木百代さん、佐藤理枝さん。

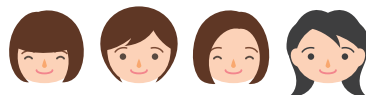


主任ケアマネジャー・介護福祉士  
葛巻 典子

介護保険制度がなかった頃に愛知国際病院の在宅医療を知り、すい臓がんの夫を自宅で看取る。ケアマネジャーの資格を取得後、2007年愛泉館に入職。

職場のこぼれ話

スタッフは30代～50代と幅広いので、さまざまな世代の気持ちに寄り添います。



「地域力を上げる！」愛泉会の取り組み

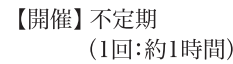
地域の一員として、医療・介護従事者として、人として、愛泉会ではさまざまな取り組みをしています。その一部をご紹介します。

参加費無料

健康教室

多職種スタッフによる教室

地域の集会場などに出向いて、多職種のスタッフがさまざまな情報をお伝えしています。ご要望がありましたら地域医療連携室へ。



【開催】不定期 (1回:約1時間)

【過去のテーマ】

- バランスのいい食事(管理栄養士)
- 骨粗鬆症と転倒予防(理学療法士)
- 不整脈ってなに(看護師)
- エンドオブライフケア(医師)など

小児言語訓練

3歳以上のことばに不安のあるお子さんに

ことばやコミュニケーションの遅れ、吃音、発音の心配など、お子さんの「ことばの相談」について、小児専門医による診察のもと言語聴覚士の個別指導・支援を行っています。

【診察時間】毎月第3土曜日 9:00～12:00

【訓練時間】午前 月～土曜 9:00～11:00

午後 月・水・金曜 13:30～15:30

【訓練頻度】1～2週間に1回(40～80分程度)を約半年間 ※医療保険診療適応

地域交流セミナー

頼れる老健を目指し、「地域交流セミナー」を活発に行います。第1回はケアマネジャーのみを対象に、愛泉館の4つのサービス(入所・通所・短期入所・訪問リハビリ)や在宅復帰の事例について紹介します。



【開催】春・秋2回 → 詳しくはP10をご覧ください

【場所】老人保健施設「愛泉館」

糖尿病教室

食事会形式で行う  
アットホームな教室

バランスの取れた病院給食を食べながら行うもので、定期的に開催しています。糖尿病の患者さん同士の情報交換にもなると好評です!興味のある方は病院受付にご相談ください。



- 管理栄養士による食事のポイント
- 医師・看護師による生活のポイント
- 専門職によるアドバイス(理学療法士、薬剤師、検査技師など)

ユマニチュードの勉強会

全職員を対象にした研修

ユマニチュードとは高齢者や認知症の患者さんに向けたケア技法で、医療現場で取り入れられつつあります。愛泉会では、「あなたのことを大切にしています。」をテーマに全体研修会を年1回行い、院内新聞も発行しています。



DVD上映会を開催しました 「ユマニチュード」発案者イヴ・ジネスト氏のドキュメンタリー映画を鑑賞し、そのケア技法を学びました。

接遇委員会による活動

地域に寄り添う存在となるために

愛泉会では接遇の向上にも努めています。主な活動は、接遇研修会(年1回)、患者満足度調査・待ち時間調査の実施、ご意見箱の設置と改善活動、接遇をテーマにした「今月の標語」設定など。



愛泉館を地域に開放!

わくわく体操教室

みんなで楽しみましょう!

地域のみなさんの健康寿命を延ばすため、日進市から委託を受けて「日進市東部地域介護予防教室(通称「わくわく体操教室」)」を開催します。担当するのは「愛泉館」に勤務する熟練のリハビリスタッフたちです。

【開催】月1回 【場所】老人保健施設「愛泉館」 【人数】約20名



詳しくは日進市東部地域包括支援センターまで  
☎0561-74-1300

リレーでつづる  
Dr. ひだまり 日記

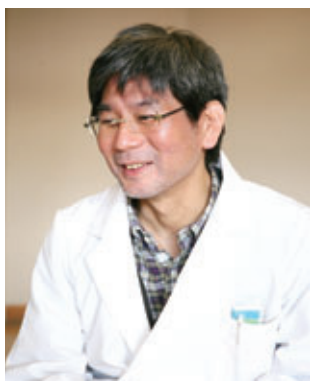
やさしさの診察室

地域医療連携部 部長 宮崎 雅

医師になったばかり、研修医のころ。「お年寄りにやさしい医師になつてください」と言われたことがあります。医師として、家族として、自分自身が老いていくにつれ、いつしか自分も患者になるだろうと自覚するようになりました。その中で「年を取ることに對してやさしい」ということは本当に難しいと感じています。

診察室では、年を取つたり認知機能が落ちてきたりしている人に少し気を使います。

最初に挨拶して名前を呼びます。視線が合わない人には距離を縮めて眼を合わせたように努めて、返事がな場合でも丁寧な話をします。感情をぶつけず穏やかに、大きな声と笑顔に小さな冗談を交えながら診察します。病氣や治療については正確に話すだけでなく、その人に必要なことが伝



わるまで、別の言葉に何度か言い換えます。お年寄りにはお年寄りの都合があることを尊重して、その人が聞きたいことにはきちんと答えることを大切にします。痛くないように、苦しめないように全力を尽くして、一番居心地のいい場所を探します。

長生きをしていい。長生きをしてほしい。若い人たちに委ねることも年を取った人の義務ですよ。そう伝えていきます。みんな同じように年を取り、急がなくても「時」は来て、その時には懐かしい人に会えると思えばいいです。そんな診療ができればと思います。

Next Doctor >>> 井手初穂先生です。お楽しみに！

～病院のお庭から～  
Photo Letter

春を運ぶ花たち

ホスピス東の庭はボランティアさんによって造られ管理されています。その庭を眺めると、10年以上前のテレビドラマ「風のガーデン」の舞台となった北海道富良野市のイングリッシュガーデンの景色が浮かんで来ます。花々が一斉に開花する4月。この庭で目を引くのは何種類ものチューリップとスイセン、そして根元のフスレナグサ。1971年菅原洋一さんと倍賞千恵子さんがそれぞれシングルレコードで大ヒットさせた「忘れな草をあなたに」を思い出します。フスレナグサの花言葉は「真実の愛」「私を忘れないで」。恋人との別れの時、「真実の愛」がその人に訪れるようお願いしながら、「私を忘れないで」と心のどこかで思う葛藤…切ないですね。もう1つご紹介したい花は、4月下旬から5月初めにホスピス玄関横のアーチに咲くモッコウバラです。たくさん花をつけるクリーム色の八重と、花数の少ない白色の一重があります。どちらも甘い香りがします。原種に近い白色のモッコウバラは気を付けないと見落としてしまいます。みなさんの目に留まりますように。



モッコウバラ



フスレナグサ



チューリップ

愛泉館だより

パワーリハビリ⑤ 電動アシスト ラビット

パワーリハビリで改善！

「最近歩くのが遅くなった」「身体が思うように動かない」。それは「使っていない筋肉」が原因かもしれません。全身の筋肉を動かしてバランスを良くし、「活動力」を高めていくトレーニングをパワーリハビリとします。第5回は電動アシスト ラビットを使った運動を紹介します。



モーターで人力を補助するから無理なく運動！

ポイント

ペダルをこぐ力をモーターがアシスト。だから安心！



主な効果

- 曲げ伸ばしの運動によって手足の筋肉に柔軟性をつけ関節の動く範囲を拡大する
- 持久力をつけて疲れにくい身体にする
- 軽い力で関節を動かすことができるため心臓への負担が少ない

結果

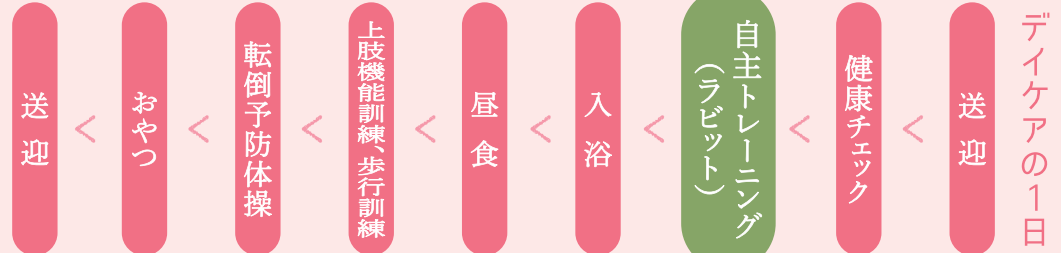
デイケアのプログラムやラビットの運動により関節の動く範囲が広がり、ふらつき・つまずきが減りました。また、持久力がついたことで疲れを感じることも少なくなり、安心して買い物に出かけられるようになりました。

Eさんのケース

(82歳 女性)

半年前に脳梗塞を発症。杖を使って近所のスーパーへ出かけますが、買い物中にふらついたり、足が上がりず段差でつまずいたりして、不安を抱えています。

ふらつき・つまずきが減って近所のスーパーで買い物も！



筋肉や関節は定期的に動かさないと硬くなりやすく、転倒やケガにつながります。普段は昇れている段差や階段も、疲れを伴うと足が上がらず、つまずいてしまうこともあります。Eさんはラビットの運動で関節が動いて持久力がつき、安全に買い物ができるようになり、これまで通りの生活を続けられるようになりました。

作業療法士 東 亮太

老人保健施設「愛泉館」  
4つの役割

「愛泉館だより」と「みなみやま」の併記に伴いこのコーナーで愛泉館の情報を発信していきます！

- ① 入所…機能回復・在宅復帰に向けたリハビリを実施
- ② 短期入所(ショートステイ)…短期的なリハビリのほか、介護者の休養にもご利用可能
- ③ 通所リハビリテーション…日帰りでリハビリ・入浴・食事などのサービスを提供(デイケア) リハビリのみの短時間デイケアもあり
- ④ 訪問リハビリテーション…理学療法士などが訪問し、生活動作のリハビリを実施

ご利用に関するお問い合わせ

☎0561-74-1711 (担当/長屋、浅井)

愛泉館は地域のみなさんの在宅支援を行う在宅超強化型介護老人保健施設です。



地域交流セミナー

テーマ「老人保健施設愛泉館の使い方」  
～入所サービスから居宅サービスまで、愛泉館ができること～

【日時】2019年5月15日(水) 14:00～16:00  
【場所】愛泉館 リハビリ室(1階)  
【対象】居宅介護支援事業所ケアマネジャーのみなさん  
【定員】30名(要申込み)

お申し込みは、事前予約をお願いします

☎0561-74-1711【担当/浅井、長屋】



受付番号を表示しています。

入所サービスから居宅サービスまで、愛泉館が提供できる各種サービスや在宅復帰の事例について紹介します。また、実際の利用料金(加算料金)や利用可能な疾病や投薬の範囲など、ケアマネジャーのみなさんからの質問に、施設長(医師)、リハビリスタッフ、支援相談員がお答えします。

老人保健施設愛泉館

「地域交流セミナー」  
居宅ケアマネジャー対象

2月より受付前にモニターを設置しました！  
置き試験運用を行っています。今後、患者さんにご確認いただきやすいよう改善しながらモニターを増やす予定です。  
みなさんの受診環境の向上にこれからも努めてまいります。表示についてご不明な点は受付窓口でお尋ねください。

愛知国際病院

診察順ご案内モニターを設置しました！

参加費  
無料



【日時】2019年5月18日(土)  
10:00～12:00  
【場所】アジア保健研修所(AHI)  
日進市米野木町南山987-30  
(愛知国際病院となり)

【講師】平良 一器(司法書士) 【定員】20名

相続登記相談会を5月25日(土)10:00～12:00(ひと組30分)に予定しています。ご希望の方はご予約をお願いします。

お申し込みは、事前予約をお願いします  
(電話またはE-mail)

☎0561-73-1950

✉info@ahi-japan.jp【担当/羽佐田】

「想い」を伝える  
遺言書の書き方講座  
自分の「最期」をどう迎えるか。その時のために心の準備もしたいし、残していくものをどうするかも考えたい。大切な人たちに「ありがとう」や、心からのメッセージも伝えられたら…。  
「遺言書」を書くことは、自分の人生を振り返ることでもあります。講師の平良一器(たいらかずき)さんは、元AHI職員で、今は司法書士として活躍中です。「遺言書」の考え方や書き方をわかりやすく教えてもらいます。

AHI(アジア保健研修所)

「想い」を伝える  
遺言書の書き方講座

医療と介護の相談室



訪問看護ステーション「えまい」

Q

～今回の相談者～  
ケアマネジャー

私が担当する一人暮らしの認知症患者さんについて相談です。  
週1回ヘルパーさんが通っていますが、心臓も悪くて最近辛そうにしています。  
訪問看護をお願いすることはできるでしょうか。

A

かかりつけ医に訪問看護指示書を用意してもらえば大丈夫です。定期的に患者さんの体調を診ながら、困っている症状や食事、排泄、内服、睡眠など生活状況をお聞きし、24時間体制でサポートします。

高齢の認知症患者さんは増加傾向にあります。また心臓疾患など複数の疾患を抱えている方も多く、訪問時には定期的に受診できているか、お薬をきちんと内服でき

ているかも確認します。ご家族が介護されている場合は、認知症の症状の説明や対応方法を伝えると同時に、介護の負担が軽減できるよう支援していきます。通院が困難になったら訪問診療へスムーズにつなげることも可能です。さまざまな職種と連携を図りながら、住み慣れた地域で安心して過ごせるようにサポートしていきます。

【今回の回答者】訪問看護ステーション「えまい」

相談窓口はこちら ☎0561-73-8154(担当/鈴木) 【受付時間】月～金曜 9:00～16:30

心のプリズム

～ずっと忘れたくないエピソード～

実習先で見つけた笑顔

私が愛泉館で働きたいと思ったきっかけをお話しします。短大の保育科を卒業後、介護専攻科に進学し、そこで実習先として訪れたのが愛泉館でした。

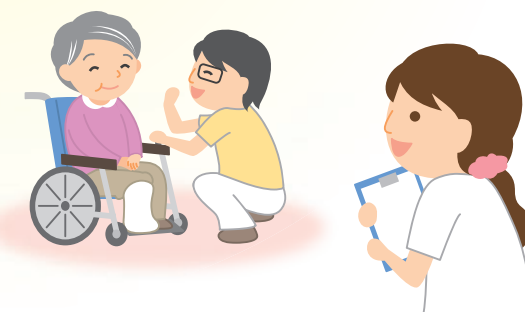
当時学生だった私の高齢者施設のイメージとえば、どんより暗くて笑顔が少ない所…というものでした。緊張しながらも実習が始まると、そんなイメージとは真逆に、ゲストのみなさんが生き生きとスタッフと笑い合っていることに驚きました。

ある日、足を骨折して退院後に愛泉館へ移ってくるゲストについて、スタッフ同士の会話を耳にしました。私は高齢者は骨折してしまったら歩けるようにならない…と思っていましたが、あるスタッフが明るく言った「また歩けるようになるよー!」という言葉が、とても新

鮮で心に響きました。実習を通してスタッフのゲストを思いやる気持ち、ゲストの優しさを感じて、私も温かい気持ちになり、ごく自然に「愛泉館で働きたい」と思うようになりました。

早いもので入職して8年目に入ろうとしています。これからも笑顔と思いやりを忘れず、ケアをさせていただきたいと思っています。

(愛泉館 入所介護リーダー 川瀬春菜)



Cover Story



愛知国際病院の創立時、創設者の川原啓美の友人が贈ったという100本の桜が、春になると美しく咲き誇ります。写真は本館裏手の紅枝垂れです。

ちょっとオフタイム

「その先の風景」を追いかけて

写真同好会は、主要メンバー4人と写真好きの職員数名が不定期でカメラに親しむ、ゆる～い集まりです。院内写真コンテストを開催したり、街のイベント場へ撮影に出かけたりしています。近年、デジタルカメラやスマートフォンが普及し、誰でも手軽にきれいな写真を撮影できるようになりました。私たちは「その先の風景」に興味がかきたてられるような写真を撮りたいと、いつも思っています。

写真同好会



写真を撮る顧問





「シャルキュトワリ」とは仏語で食肉加工。  
ショーケースには自家製ソーセージなどがずらり!



ギフト用にも人気のテリーヌ(上)と  
ウデ肉で作るこだわりの焼き豚(下)。



すべて自家製メニューのOne Plate Lunch(上)、  
野菜と肉をぎゅっと詰め込んだキッシュ(右)。



ガーデンパーティも楽しめるテラス。

# East Favorite

名古屋から東へ  
お気に入りをご紹介

すべて自家製  
テリーヌも  
ロースハムも



愛知県日進市  
シャルキュトワリ・コイデ竹ノ山



オーナーの小出修武さんと奥さまの美登里さん。

## CHARCUTERIE KOIDE 竹ノ山

【住所】日進市竹ノ山  
2-1920  
※エディオン日進竹ノ山の  
店の北側にあります。  
【TEL】0561-74-6008  
【営業時間】10:00~18:00  
(日曜・祝日休み)  
【駐車場】店舗前4台  
<http://www.charcuteriekoide.com/>

**肉屋が始めたデリカテッセン**  
今から約25年前。名古屋で老舗の肉屋を営む夫婦は、3人の子どもに添加物入りの加工品を食べさせたくない、家でハムやソーセージを作るようになり、やがて商品として販売するようになりました。肉の目利きが素材を厳選して作るハムやソーセージは話題を呼び、2003年、日進市竹ノ山に店をオープン。現在は息子の小出修武さんが店を引き継ぎ、加工調理も一手に引き受けます。「小さい頃から手作りハムや焼き豚を食べて育ったので、その流れで加工や調理も自然に覚えました(笑)」と小出さん。定番のハム、ソーセージ、ベーコンに加え、彩り美しいパテ、テリーヌ、キッシュもぜひおすすめ。お肉ってこんなにおいしかったんだーと感動ものです。

## 賛助会員募集のお知らせ

アメニティーの充実(施設環境、造園、園芸)、ホスピスでの諸行事、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のためには非ご協力をお願いいたします。(ご入会いただいた方には年に4回広報誌をお送りいたします)下記の口座に会費をお振り込みください。

- 【①郵便局窓口利用】郵便振替口座 00890-5-3757 【②ATMおよびインターネット振込利用】ゆうちょ銀行(9900) 店番089 当座0003757  
【①②口座名義】愛知国際病院ホスピス賛助会 【一口】1,000円(おいくらでも結構ですが、できましたら、5口以上でお願いいたします)

## 編集後記

世の中には便利で効率的なことが増え続けています。新しいことに目を奪われがちですが、自分の心にブレない軸を持っていないと、足元をすくわれてしまうのかもしれない。BIG対談では和やかな雰囲気ながらそんな力強さを感じました。まもなく元号も変わります。変化を楽しむためにこそ自分自身の「変わらない部分」を探して大切にしたいです。(諸石)

●これまでお寄せいただいているご意見・ご感想、大変感謝いたしております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 【医療法人財団 愛泉会】

- 愛知国際病院 ■老人保健施設 愛泉館 ■指定居宅介護支援事業所 愛泉館 ■日進市東部地域包括支援センター  
■訪問看護ステーション えまい ■住宅型有料老人ホーム カナン 【関連施設】AHI(アジア保健研修所)

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 Tel.0561-73-7721(代) Fax.0561-73-7728 <http://aisen-kai.jp/>

医療法人財団 愛泉会 広報誌「みなみやま92号」 発行日:2019年4月1日 発行人:井手宏 編集発行:法人だより委員会 編集長:近藤正嗣

※無断で複写、複製、転載することを禁じます。



スマートフォンでも  
ご覧いただけます

お問い合わせ

医療について ☎0561-73-9179 (地域医療  
連携室)

介護について ☎0561-74-1300 (日進市東部地域  
包括支援センター)

【医療・介護についての受付時間】月~金曜 9:00~17:00 土曜 9:00~12:30